

## 師走 2021年の締めくくり

枯葉が舞い、木枯らしが肌に厳しい冬の到来となりました。いよいよ12月、師走を迎えました。7日は、二十四節気の「大雪」です。本格的な冬、雪の到来です。登校時、白い息を吐きながらの元気な子どもたちの「おはようございます」の声で、今日も頑張ろうという前向きな気持ちになります。

2学期も終わりに近づきました、今学期はコロナ感染予防に対して少し緩和され、昨年度に比べ、多くの行事が予定通り行われ、自然学校（5年生）、修学旅行（6年生）、広野っ子ウォークラリー、ひろジック♪コンサートと続き、12月のマラソン大会が締めくくりとなる1年間で最も学校行事が集中する学期でした。多くの行事で活躍してきた子供たちの姿や日々の真剣な学びの顔や笑顔满面な様子、心に残る場面が数多くありました。

先日のひろジック♪コンサートには、たくさんの保護者の方にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたちの合奏はいかがでしたか。子どもたちは、演奏が終わった後、とてもいい表情をしていました。中には音楽の苦手な子どももきっといたことでしょう。しかし、練習を繰り返した結果、少しずつ上達し、やればできる自分自身を発見できたからこそ、友だちの頑張りを素直に認め、他学年や隣のクラスの発表にも心からの拍手を送ることができたのではないかと思います。それぞれの子どもが課題を克服し、みんなと心をつなげて、「ひろジック♪コンサートを成功させた」という達成感を十分味わうことができたことでしょう。これもひとえに保護者の皆様のご協力のおかげと感謝いたしております。

さて、子どもたちは目前に迫ったマラソン大会に向け、朝の駆け足に全力で取り組んでいます。目標を持って練習する子どもの姿はさすがしく逞しさを感じます。

学校行事を実施するうえで、なによりも大切にしなければならないことは、子どもたちに挑戦することの素晴らしさを体得させ、自己の可能性を開花させる機会を意図的に与え続けることだと考えます。学力のみならず、何事においても目標を持って取組を継続することのできる子どもは、日々成長していきます。「根気強さ」「創意工夫」「負けん気」など、生きていくうえで必要な資質を学校行事の中で、さらに培いたいと思います。

いよいよ明日から12月が始まります。長い2学期も最後の月を迎えます。つまり12月は、2学期だけではなく、令和3年の締めくくりの月でもあります。2学期の始まりのときや、今年のお正月に決めた目標は達成できましたか。できた人はさらにその上を目指しましょう。できていない人は、この12月に達成できるよう日々取り組んでいきましょう。

